

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 17 陣の記録

テーマ：スポーツ交流（柔道），対象国：ミャンマー

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、ミャンマーより柔道の若手競技経験者 14 名が、2020 年 1 月 21 日～1 月 29 日の 8 泊 9 日の日程で来日し、「スポーツ交流（柔道）」をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、東京都内で講道館にて柔道について学び、日本の柔道競技者との交流を行ったほか、オリンピックミュージアム及び刀剣博物館、日本体育大学等を視察しました。埼玉県では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のミャンマーのホストタウンである鶴ヶ島市にてホストタウン関連の講義等を受け、城西大学にて柔道の練習を行うことで、柔道の技術を磨くと同時に柔道を通じて日本の学生との交流を行い、日本文化についての関心を高めました。更に、秩父市でのホームステイ体験及び神奈川県の大本山總持寺での座禅体験等を通して日本の文化を体験し、日本人と日本の生活についての造詣を深めました。一行はプログラム中、日本の柔道に対する理解を促進するとともに、さまざまな交流を通じ日本・ミャンマー間の交流を深め、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について、発表しました。

2. 日程

1 月 21 日（火）

- － 来日
- － 【文化視察】成田山新勝寺，皇居
- － オリエンテーション
- － 【視察】オリンピックミュージアム

1 月 22 日（水）

- － 【講義】日本アセアンセンター（テーマ：日本の外交）
- － 【講義・視察】講道館（テーマ：柔道の歴史）
- － 【スポーツ交流】講道館（練習）

1 月 23 日（木）

- － 【表敬】埼玉県鶴ヶ島市（2020 年東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン）
- － 【講義】埼玉県鶴ヶ島市（テーマ：ホストタウンとしての取り組み）
- － 【交流会】ミャンマーのホストタウン交流事業関係者との昼食会
- － 【講義】城西大学（テーマ：城西大学におけるミャンマーとの交流）
- － 【学校交流】城西大学（合同練習）

1月24日（金）

- －【文化視察】刀剣博物館
- －【スポーツ交流】講道館（練習）

1月25日（土）

- －【文化視察】川越
- －ホームステイ（埼玉県秩父市）

1月26日（日）

- －ホームステイ（埼玉県秩父市）
- －【スポーツ交流】秩父柔道連盟 昇級審査

1月27日（月）

- －【文化体験】大本山總持寺
- －【視察】日本体育大学
- －【文化視察】浅草寺

1月28日（火）

- －【表敬】在京ミャンマー大使館
- －ワークショップ
- －成果報告会

1月29日（水）

- －離日

3. プログラム記録写真

	
1月21日【視察】 オリンピックミュージアム	1月22日【講義】 日本アセアンセンター



1月22日【講義・視察】
講道館（柔道）



1月23日【表敬】
埼玉県鶴ヶ島市



1月23日【交流会】
ホストタウン交流事業関係者との昼食会



1月23日【学校交流】
城西大学



1月24日【文化視察】
刀剣博物館



1月24日【スポーツ交流】
講道館（柔道）



1月25日【文化視察】
川越



1月25日【ホームステイ】
ホームステイ対面式



1月26日【スポーツ交流】
秩父柔道連盟 昇級審査



1月27日【文化体験】
大本山總持寺



1月28日【表敬】
在京ミャンマー大使館



1月28日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

日本に行ってみたくとずっと思っていたので参加が決まった時からこの日を楽しみにしていた。成田空港に着いてからというものあちこちの写真を撮ってはすぐにFacebook にアップして、ミャンマーにいる知りうる限りの友人知人や家族にシェアしていた。これからの活動内容に関しても、柔道の基本をしっかりと学んで帰国後に広く普及していけるよう計画を立てている。気さくに挨拶をすることや互いを思いやるコミュニケーションをとるところがミャンマーと日本は似ていると感じた。異なることは、日本は大いに発展しており人々は規則正しく、また時間を正確に守る点であり、同様にミャンマーもさらに発展して規律を重んじる国になってほしい。私は大学生であるので、大学において、帰国後そういった点を広めていきたい。また高校生で柔道に関心がある者がいれば教えていこうと思うし、柔道選手や柔道について学んだことがある者に対しても同様の知見を共有していこうと計画している。3ヶ月が過ぎた後でも、次の世代やこれからの柔道選手らに、自分のできる範囲で伝えていければと思う。

◆ 大学生

日本での研修中に、自分が知りたかったことを学べたからとても嬉しかった。時間を正確に守っていることや衛生的な生活等から、日本にはきちんと規律があるということを知った一方で、親しみやすい一面も感じた。帰国後は、自分が知り得た柔道の歴史、また、嘉納 治五郎先生のことにも皆に発信していきたい。更に、柔道に関するプログラムを通してより理解を深めることができたので、インターネットを使い、これらのことも発信していこうと思う。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ 埼玉県鶴ヶ島市

本市で進めるホストタウンの取組は、日本にお住まいのミャンマー出身の方との交流をメインに進めておりますが、今回の訪日団の皆様との交流を通じて、本市の取組をミャンマー本国の方々にも知っていただく機会になりました。受け入れ側として、大変やりがいがあったと感じています。ホストタウンの説明の際は、真剣に話を聞くだけでなく、積極的に質問もしていただき、真面目で勤勉な印象を持ちました。また、人柄もよく、明るい一面もあり、ランチ交流会に参加した市民の方々からは、大変楽しい交流ができたとお声をいただきました。

6. 参加者の対外発信

added 6 new photos. 6 hrs

Kodokan judo ခန်းမမှာ Brunei အဖွဲ့နဲ့အတူတူလေ့ကျင့်ခဲ့ပါတယ်
 #JENESYS2019 judo

and 71 others 3 Comments • 1 Share

Like Comment Share

added 6 new photos. 4 hrs

Today JOSAI UNIVERSITY သို့သွားရောက်လေ့ကျင့်ခဲ့ရပါတယ်
 #JENESYS2019_JUDO_MYANMAR

You, and 46 others 1 Comment

Love Comment Share

講道館について発信 (Facebook)

埼玉県鶴ヶ島市表敬訪問および城西大学との学校交流について発信 (Facebook)

added 8 new photos. 4 hrs

Japanနိုင်ငံရှိစားပြတိုက်နဲ့ စက္ကူ ပြတိုက်သို့ သွားရောက်ခဲ့ရပါတယ်
 #JENESYS2019-Judo-MYANMAR

and 29 others

Like Comment Share

1 hr

Chi Chi Bu သို့သွားခဲ့သည်
 #JENESYS 2019 MYANMAR JUDO

and 31 others 1 Comment • 1 Share

Like Comment Share

刀剣博物館について発信 (Facebook)

秩父市での柔道交流について発信 (Facebook)

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

 <p>毎年4月に夏柔道教室を開いております。</p> <p>柔道に興味ある小中高の学生100人位が習いに来ますので、その時に日本で学んだ柔道のことを彼らに教えてあげようと思っております。</p>  <p>我々がこれからやっていこうとしているのはミャンマーの柔道の発展と良い選手の育成の手助けです。</p> <p>子供達に対し、柔道に関しての全てのことを教えてあげようと思っております。</p>	<h3>When We Came Back To Our Country</h3> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Within three months we will distribute Judo Techniques to University Judo clubs and Schools ▪ Teaching kids who is interested in JUDO Sport  <p>28/1/2020 To Improve Our Society And Sport</p>  <ul style="list-style-type: none"> • Sharing things to Judo athletes about what we learn in Japan • To develop Myanmar Judo Sport compared to before • Finally to get Gold Medal in Competitions  <p>28/1/2020 To Improve Our Society And Sport</p>
<p>①帰国後、毎年4月に開催される柔道教室で、柔道に関して興味を持っている人達に日本や日本の柔道のことを共有する。</p> <p>②子供たちに柔道を教える。</p>	<p>①帰国後、3ヶ月以内に大学の柔道クラブや学校等で柔道の技術を教えたり、実演したりする。</p> <p>②柔道に興味のある子ども達を指導する。</p> <p>③日本で学んだことを柔道競技者へ共有する。</p> <p>④ミャンマー柔道をレベルアップさせ、オリンピックや大きな国際大会で金メダルを獲得できるように選手を育てたい。</p>

事業実施団体:株式会社 JTB